

② エアドライ法：パスツールピペットに1.5 cm くらい吸い上げた細胞浮遊液をスライドガラス上にうすく広げる。このとき、ピペットはスライドガラスと平行に保ち、先端をスライドガラスの表面に沿って後退させながら、少しずつ内容を吐き出す。1 cm 程度の高さに小さく炎を絞ったバーナーを用い、広げた固定液の中央部分を裏面から2秒くらい加温、乾き始めたらただちに扇風機で冷却する。

⑤ 火炎乾燥法：エタノールに保存しておいたスライドガラスの裏をキムワイプで軽く拭き（スライドガラス表面はエタノールで濡れている状態）、細胞浮遊液を1~2滴落としたのち、すぐにガスバーナーの炎に通し、氷の上にスライドガラスを置く。細胞浮遊液から炎が上がると同時に乾燥していくのが観察される。